

■プレコンセプションケアとは・・・

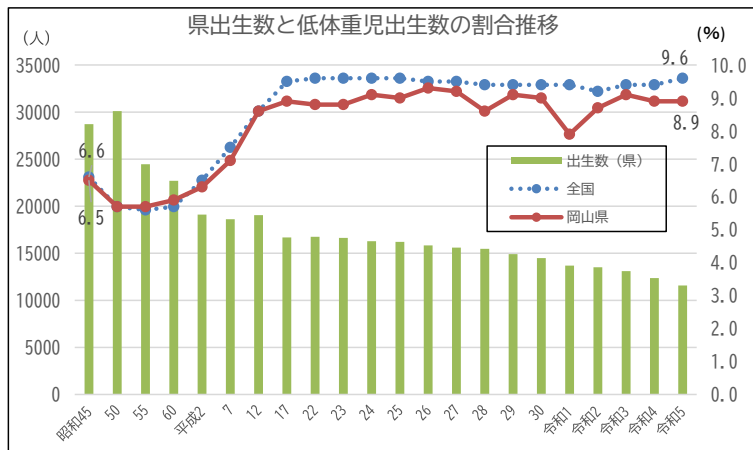
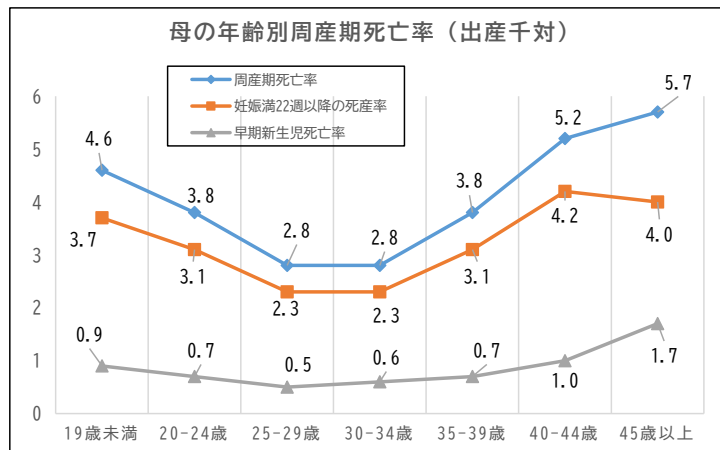
『性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う』概念

■背景

○妊娠・出産に係る様々な問題がある

- ・低出生体重児の増加
- ・痩せている妊婦の問題
- ・出産年齢が高齢化すること等による周産期リスクの高い妊婦の増加
- ・予期せぬ妊娠

出典：プレコンセプションケア推進5か年計画より抜粋



出典：厚生労働省人口動態統計

1

こどもまんなか
こども家庭庁

プレコンセプションケア推進5か年計画（概要） ～性と健康に関する正しい知識の普及と相談支援の充実に向けて～

背景と経緯

- 「『**『成人医療等基本方針（令和5年3月改定）』にプレコンセプションケアの推進についての方針が定められたほか、『経済財政運営と改革の基本方針2024』に『相談支援等を受けられるケア体制の構築等プレコンセプションケアについて5か年戦略を策定した上で着実に推進する』旨が盛り込まれた。**』
- 若い世代が自分の将来を展望する際に、性や健康・妊娠に関する正しい知識の取得方法や、相談する場所・手段について、必ずしも広く知られていない現状を踏まえ、「**『プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会 ～性と健康に関する正しい知識の普及に向けて～（座長：五十嵐隆国立成育医療研究センター理事長）』において、プレコンセプションケアに係る課題と対応について整理を行い、『プレコンセプションケア推進5か年計画』を策定。**」

プレコンセプションケアの概念及び 現状・課題とそれに対応にあたっての基本的な考え方

1. プレコンセプションケアに関する概念の普及

- プレコンセプションケアは「**性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う**」概念であるが、言葉自体や概念についての認知度は低い。
- 思春期から成人期に至るまで、性別を問わず**全ての人が、発達段階や状況に応じてプレコンセプションケアという概念を知り、それに関する知識について、適切に身につけることは重要。**

2. プレコンセプションケアに関する相談支援体制の充実

- プレコンセプションケアに関する相談先として、自治体における「性と健康の相談センター」等があるが、広く知られていない現状がある。
- 若い世代の方が、**より相談しやすいような体制づくりが必要。**

3. 専門的な相談支援体制の強化

- 基礎疾患のある女性が、説明を受けないまま、妊娠する方がいる実情や、かかりつけ医等と産婦人科医の連携が不十分という指摘も。
- 産婦人科以外の医師もプレコンセプションケアに関して十分な知識を持つとともに、かかりつけ医等と産婦人科医の必要な連携に資する情報提供資料が必要である。**

取組推進に あたって

- プレコンセプションケアの推進にあたっては、**若い世代の意見を聴き、当事者のニーズに沿った取組を実施し施策の効果を定期的に評価。**
- 国は、国立成育医療研究センターと連携し技術的に支援、自治体は国の「5か年計画」を参考に「**地方版推進計画**」を策定する等計画的に推進。

今後5年間の集中的な取組

対象者層

全ての世代の方々

妊娠・出産を含めた性や健康に関する相談をしたい方

専門的な相談をしたい方

性と健康に関する正しい知識の普及と情報提供

- ★SNS等を活用した積極的な情報発信。
- ★プレコンセプションケアの普及に係る人材（プレコンサポーター）を育成するとともに、啓発資料の作成等、自治体・企業・教育機関等における**講演会等の開催支援。**

＜目標＞
認知度 80%
プレコンサポーター
5万人以上

相談支援の充実（一般相談）

- ★「性と健康の相談センター」等プレコンセプションケアに関する**一般的な相談ができる窓口の認知を推進。**
- ★**身近な地域において医療機関等も含め、専門家による相談支援体制の整備を図る。**
- ★夜間休日対応の実施や、電話・オンライン相談、メールやSNSの活用等、**相談者の利便性に配慮。**

＜目標＞
相談窓口認知度
100%

相談支援の充実（専門相談）

- ★基礎疾患を有する方等が、医療機関等でプレコンセプションケアに関する相談ができるよう、**全国に相談窓口を展開するとともに、専門外の医師の適切な対応にも資するよう、医療者用相談対応マニュアルを作成し、周知。**

＜目標＞
専門相談医療機関数
200以上

プレコンセプションケア推進 5 か年計画 指標一覧

(国が実施する今後 5 年間の集中的な取組)

III. 1. 性や健康・妊娠に関する正しい知識の積極的な普及と情報提供			
項目	指標	現在	5 年後の目標
プレコンセプションケアに関する知識の深化	若い世代におけるプレコンセプションケアの概念の認知度	1割以下	80%
プレコンセプションケアの普及に係る人材育成	プレコンサポーターの人数	—	5 万人以上
自治体・企業・教育機関等でのプレコンセプションケアについての取組のサポート	自治体における性と健康の相談センター事業の実施率（連携して行う場合を含む）	約70% （※ 1）	100%
	企業におけるプレコンセプションケアに関する取組の実施率	約30% （※ 2）	80%
III. 2. プレコンセプションケアに関する相談支援の充実（一般相談）			
	若い世代における一般的な相談窓口の認知度	—	100%
III. 3. プレコンセプションケアに関する医療機関等における相談支援の充実（専門相談）			
	プレコンセプションケアに関する専門的な相談ができる医療機関数	約60機関 （※ 3）	200以上

※ 1 90/129自治体

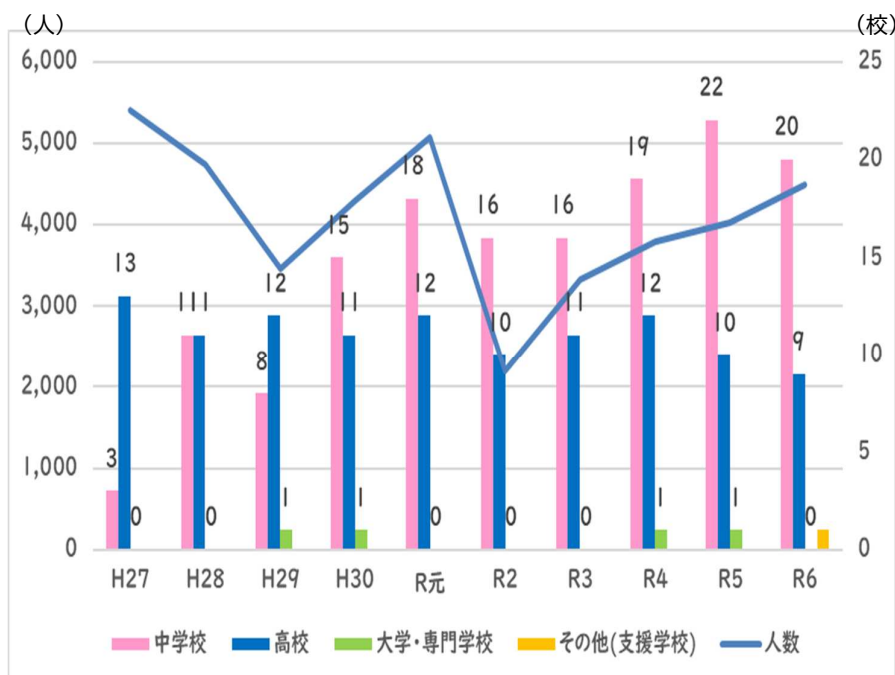
※ 2 健康経営度調査に回答した大規模法人3,869社中

※ 3 参考：妊娠と薬外来の拠点病院は57か所

3

<県の取組> 未来のパパ&ママを育てる出前講座

将来、親になろうとする中高生等の若い世代へ妊孕性(にんようせい)をはじめ、妊娠、出産に関する正しい知識を普及するとともに親になるための健康づくりについて理解を深める啓発活動を行うため、教育現場で出前講座を行っている。

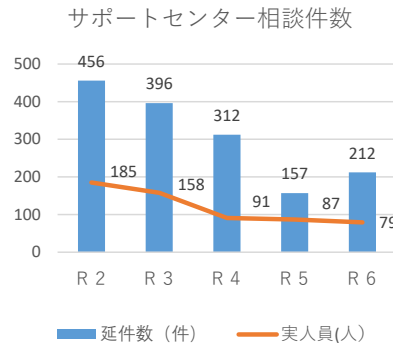


4

おかやま妊娠・出産サポートセンター（性と健康の相談センター事業）の概要

相談センター設置	岡山大学病院内(2014年開所)
事業内容	・妊娠や出産、子育て、思春期、女性特有のからだの悩みなどに必要な助言や情報提供を行う ・専門的な知識を身につけるための研修会等へ参加。
開所日	毎週月・火・水・金 午前9時～12時
相談対応者	医師・助産師・保健師・社会福祉士など
相談内容	・妊娠や避妊についての相談 ・更年期などについての相談 ・思春期の性についての相談 ・性感染症についての相談
課題	・サポートセンターの周知(普及啓発) ・若年妊産婦への相談支援体制 ・市町村との連携 ・相談件数の減少

年度	実人員(人)	延件数(件)
R 2	185	456
R 3	158	396
R 4	91	312
R 5	87	157
R 6	79	212



相談内容内訳(件)

	電話	面接	メール	その他
R 4	189	6	115	2
R 5	74	20	63	0
R 6	81	23	105	3

岡山県受託事業
おかやま妊娠・出産サポートセンター
妊娠・安心相談室 相談無料

相談員として
助産師・保健師・社会福祉士・
公認心理師・医師が
「わかりやすく」「丁寧に」「優しく」
対応します。

妊娠中の不安がいろいろ
出産や子育ての費用が心配...
もしかして妊娠...!?
子育てに疲れた...

ひとりで抱え込まないで
あなたが今できることを
一緒に考えましょう。

妊娠・出産
乳房・授乳
アフターバースプラン
子育てへの様々なお悩み
思春期の心と身体
思いがけない妊娠
プレコンセプションケア

おかやま妊娠・出産サポートセンター「妊娠・安心相談室」
☎ 086-235-7899 ✉ E-mail: ninshin@okayama-u.ac.jp

電話での相談、来場での相談、書籍等の提供
毎週月・火・水・金曜日 9時～12時
オープン日 毎週木曜日 12時～15時

メール・LINEでの相談
毎日24時間受け付け可

詳しくは下記サイトへ
QRコード

〒700-8558 岡山市北区東田町2-5-1 岡山大学病院 中央診療棟2F
URL: <https://www.okayama-u.ac.jp/user/ninshin/>
【おかやま妊娠・出産サポートセンター】は岡山県からの委託を受け、岡山大学大学院保健学研究科が運営しています。

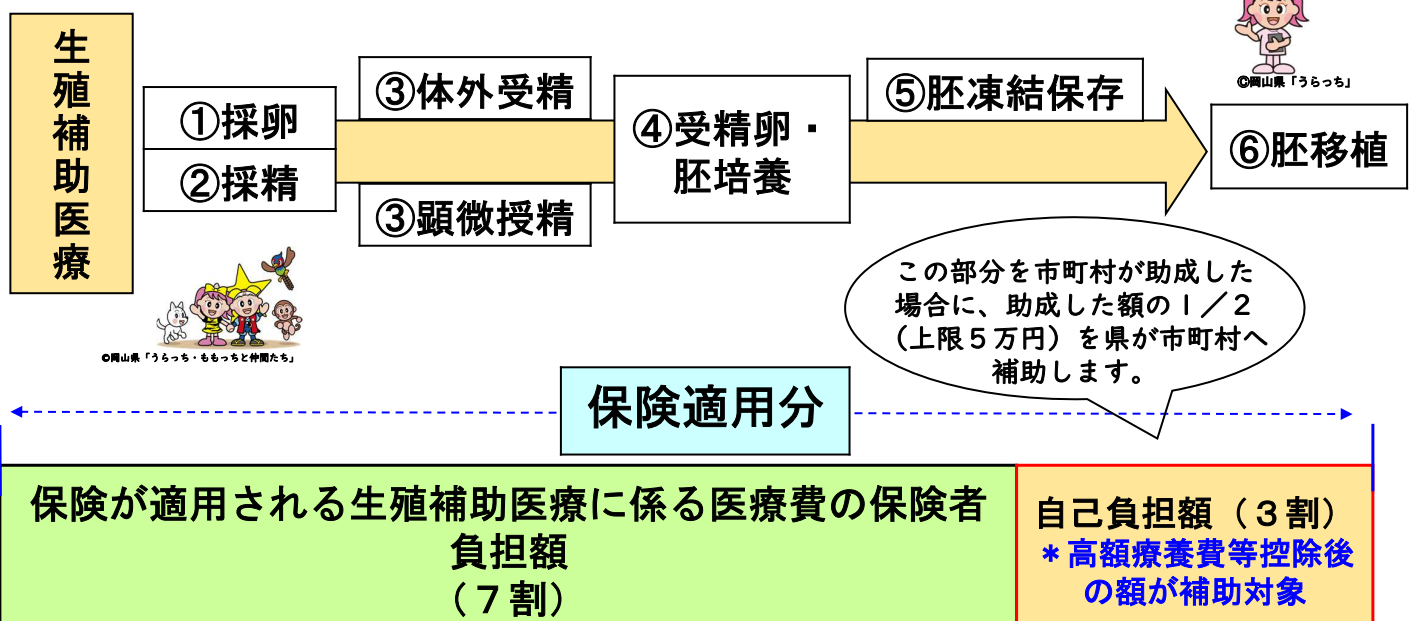
5

<参考1>

岡山県内自治体における不妊治療費助成制度について

岡山県では、不妊治療費の助成を行う市町村への補助を行っています。

岡山県が市町村に対して補助する不妊治療（生殖補助医療）のイメージ



補助事業開始日：令和7年4月1日

6

岡山県 産後ケア事業 研修会

定員130名(先着順)

参加費
無料申込締切
10/3 金 17時まで

2025年

日時

10/17

金

13時15分～16時30分

会場

岡山県医師会館 401会議室

(受付:13時00分～)

対象

- ・市町村及び保健所・支所(母子保健・産後ケア事業担当者等)
- ・産後ケア事業に関わるスタッフ(医師、助産師、保健師、看護師等)
- ・今後産後ケア事業に関わりたいと考える医療機関・助産所のスタッフ等



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」

時間

13:00 受付 受付開始

開会

13:15 説明 あいさつ

最近の産後ケア事業の動向 岡山県 健康推進課

13:30 講演 産後ケア事業を効果的に進めていくために
～産後ケア実施施設と自治体との連携を踏まえて～

東京情報大学看護学部 教授 市川 香織 氏

14:30 実践報告等 産後ケア事業の実践について
～経験者の立場から～

産後ケア事業利用経験者①
産後ケア事業利用経験者②
産後ケア事業実施施設 マル助産院

15:20 グループワーク 情報交換×意見交換×交流会
テーマ「必要とする方が利用できる事業を目指して」

- ①周知の工夫(30分)
- ②利用者・支援者それぞれの思い(30分)

市町村 × 産後ケア施設
のマッチング交流会

産後ケア事業における地域課題の解決に向けて、市町村とともに取り組んでくれる産後ケア施設とのマッチングを兼ねています。

16:30 閉会

参加概要／
申請方法

- ・定員:130名(定員に達し次第、募集終了します。)
 - ・参加費無料
 - ・本研修会に参加をご希望される方は、「岡山県電子申請サービス」の下記URL、又は、右の二次元コードを読み取り、お申し込みください。
- https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=48360



申込締切

令和7年

10月3日(金)17時

岡山県 保健医療部 健康推進課 母子・歯科保健班

TEL:086-226-7329 (月～金 8:30～17:15)

E-mail:boshi@pref.okayama.lg.jp

主催 岡山県 後援 岡山県助産師会



©岡山県「ももっち」



〈主要指標〉

項 目	現 状	目 標	担当課
婚姻率 ⁹	3.7 (R5)	3.94	子ども未来課
平均初婚年齢	30.1歳(夫) (R5) 29.0歳(妻) (R5)	現在より低下	子ども未来課
★ 妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合	55.6% (R5)	73%	健康推進課
おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数	521組 (R6.3)	1,100組	子ども未来課
★ 妊娠・出産に満足している者の割合	86.7% (R5)	90.5%	健康推進課
出生数	11,575人 (R5)	12,260人	子ども未来課
県内大学新卒者の県内就職率	42.9% (R2～R5の平均)	47.5%	労働雇用政策課

★ … 第4次生き生きプランの指標でもある